

尾張南支部

西三河支部

オオブユニティ廃棄物焼却発電施設 リサイクルプラント東浦工場を視察

尾張南支部（金田英和支部長）、西三河支部（石山勝範支部長）は、オオブユニティ（株）の廃棄物焼却発電施設である「リサイクルプラント東浦工場」へ視察を行いました。

※オオブユニティ（株）業の区分
（収集・運搬、中間処理、最終処分）

昨年8月より稼働した「リサイクルプラント東浦工場」は、ごみ焼却で発生する熱エネルギーを回収し資源として有効利用するサーマルリサイクルを実現し、地域環境との調和を図っています。

・リサイクルプラント東浦工場

愛知県知多郡東浦町大字森岡字外新切 27-1

焼却方式：旋回流型流動床焼却炉（T I F 型炉）

施設規模：131.2トン/日

発電出力：3,000kW

年間発電量：約2千万 kWh

（一般家庭約5,500世帯の年間消費量に相当）

稼働開始：令和5年8月

総事業費：72億円

【受入品目】

廃プラスチック類、紙くず・木くず・繊維くず、食品残渣、商品廃棄、汚泥、廃油・廃酸・廃アルカリ、その他

・処理の流れ

ごみを焼却処理し、減容化・無害化します。焼却時に発生する排ガスは、万全な大気汚染防止対策をして大気に放出して、焼却時に発生した熱エネルギーを使用して発電を行っています。

①プラットホーム

場内の計量器で重さを量り終えたごみ収集車はプラットホームへのごみを運び、投入扉からごみピットに投入します。



リサイクルプラント東浦工場（出典：同社ホームページより）

②ごみピット / ごみクレーン

8日分の量のごみをためておくことができます。安定して燃焼させるために、一度に2トンつかめる大きなごみクレーンでごみを混ぜて均一化しています。

③流動床焼却炉

砂を入れた炉内に下部から空気を均一に送り、砂を激しくかき混ぜることにより燃焼効率を高め安定した均一な燃焼で廃棄物を完全燃焼します。

④廃熱ボイラ

焼却炉から出た高温の排ガスで水を温めて蒸気をつくります。生成した蒸気を加熱器で3MPa、320℃まで高温・高圧化し、蒸気タービン発電機へ送ります。

⑤エコノマイザ

排ガスから熱を取り出してボイラドラムへ送る水を温めることにより排ガスの温度を下げます。

⑥蒸気タービン発電機

蒸気の力で蒸気タービンを回転させて、定格出力3,000kWの発電機で発電し、新電力会社を通して地域で活用している。

⑦蒸気復水器

発電で使用した蒸気を冷やして、再び水にします。戻した水は、炉内にて再利用します。

⑧集じん装置

ろ布と呼ばれる筒状のフィルタで排ガスの有害成分だけを吸着処理します。

⑨ダスト混練機

飛灰中の成分が溶け出さないよう、キレート剤を混ぜ合わせて処理します。

西三河支部：視察研修会

- 日 時：令和6年2月26日（月）午後1時
- 集合場所：名鉄知立駅
- 参加者：24名

西三河支部（石山勝範支部長）は、「リサイクルプラント東浦工場」にて視察研修会を開催しました。

当日、開会の挨拶で金井邦剛副支部長は「遠くの施設を見学し勉強することも大切ですが、より近くの利用できそうな施設を見学させていただき、今後の適正処理に向けた搬出先を確保することも大切かと思ひ視察研修会を企画させていただきました。」



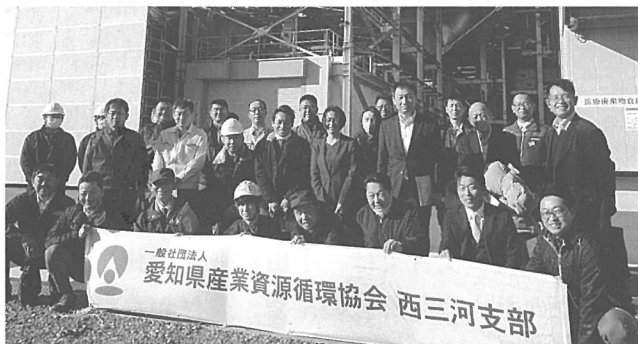
説明をする相木社長

と述べました。

研修会の挨拶で相木徹社長は「廃棄物の資源化を進めておられると思いますが、どうしても資源循環できない有機物の付着した廃プラスチック類、選別しきれない廃棄物は、焼却することが適正処理に繋がり、さらに当施設ではこのような廃棄物をエネルギーに変換できる施設となっております。そういった意味でご利用していただければ幸いです。」と述べました。



工場見学の様子



見学先にて集合写真

始めに、会議室にて相木拓馬工場長より同施設の概要の説明を受け、質疑応答では、現在の荷受け余力の話や液体廃棄物の受入状況、ロール状の廃棄物はどうなのか、定期修繕期間はどれくらいなのか、などの質問がありました。

続いて、見学は実際に廃棄物がクレーンでホッパーに投入する様子や、感染性産業廃棄物を荷受けしてから遠隔操作によりロボットアームで焼却施設へ投入する様子など、説明を受けながら視察し、焼却炉より排出される不燃性の廃棄物や金属廃棄物も見せていただき、最新の設備に参加者の感嘆の声が聞こえてきました。



挨拶をする近藤委員

見学を終え会議室に戻り、再度質疑応答を行った後、閉会の挨拶で近藤大樹委員は「今日はこのような素晴らしい施設を見学させていただきありがとうございます。このような大規模な投資を1社で行うことができる会社は少なく、今後は利用させていただきながら資源循環と適正処理を担保していきたいと思ひます。」と述べました。

相木社長からのサーマルリサイクルへのメッセージを伺い、産廃業者として同じ想いを共有できた有意義な視察研修会となりました。



工場見学の様子



工場見学の様子